

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている			
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が徐々に上昇傾向にある。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・既存店の売上高を前年比で見ると、3か月前の99.2%から、今期は103.0%と3.8ポイント良くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・単価上昇が続いていることに加え、気温が暖かかったことから、まずまずの売上となっている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・テレビ、DVD等のデジタル商品の売行きは依然好調で、買換え需要の掘り起こしにも役立っている。エアコンも販売企画が功を奏し、台数が伸びている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型車効果から、売上は先月に引き続き計画通りに推移している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客単価は安い状態のままであるが、電話での問い合わせや予約数が増えつつある。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・通常、来場者数が減る時期であるが、展示場のイベントに多数の来場客があった。	
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・例年2月下旬から売上が上向いていくが、同業者に聞いても、今年は例年と違って、売上は横ばい或少し下回っているとの声が多い。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	販売量の動き	・今月はバレンタインの売上も不調で、菓子屋にとっては厳しい状況が続いている。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・婦人の春物スーツは、全国的に売行き好調と言われているが、当店では2月25日から27日にかけて急に売れ出した。25日の給料が出てから買いに来た状況であり、当地の購買行動はまだまだ慎重である。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数及び売上高は、前月同様に前年水準を確保した。呉服、美術品などの高額品は落ち込みが目立ったが、ファッション関連の衣料、雑貨類は総じて好調であった。
		スーパー（店長）	単価の動き	・特に肉類では、BSEや鳥インフルエンザの影響で販売量が落ちている。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・衣料品は暖冬で冬物処分の動きが悪く、また春物関係の動きも全くない。食料品は鳥インフルエンザ等の影響で客の購入が控えめである。ブランド品等の動きも鈍い。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月、系列企業を変更し新商品を増やしたが、売上は増加していない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・単品買いの客が多く、セット販売につながりにくい。3か月前から前年比3%程度の売上減少が続いている。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・売上構成比80%を占める大型薄型テレビ、DVDレコーダーの売上が増大し、客単価が上昇している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・年間で一番の需要期であるが、新車、中古車とも販売台数は伸びていない。
		スナック（経営者）	単価の動き	・焼酎などの安い酒を注文する客と、高価な酒を注文する客に二極化している。ただし、安い酒を注文する客がまだまだ多く、売上に変化はない。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・受験シーズンを迎え、東京への航空券購入やホテルの宿泊予約の客、スキーバスの予約客等は例年どおりであった。また、4月以降の団体旅行の相談もだんだん出てきており、売上はまずまずであった。
通信会社（営業担当）		販売量の動き	・今月は、3か月前よりは良くなると予測していたが、3月に新商品が投入されることもあり、客の動きが少し「待ち」の状態になっている。	
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月の来場者数は、前年をやや下回っている。季節的要因もあるが、週末でも予約状況が埋まらない状況であった。		
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・春物商品に関しては、単価は例年通りであるが数量の動きは鈍い。	
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・紳士服の冬物処分セールが悪く、春物も出足が良くない。	

		スーパー（店長）	競争相手の様子	・日替わり商品としての冷凍食品、アイスクリームの値段は、定額の半額が業界の常識であったが、近隣競合店はそれらを6割引で販売しており、一段と価格競争が激しくなっている。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・客数は6%、客単価は4%低下している。BSE発生以降、牛肉の売上が2割弱減少し、鳥インフルエンザの影響で鶏肉の売上也2割強減少している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・一般商品や酒などで、ここのところずっと売上の目減りが続いている。客の話でも、12月のボーナスが今一つ良くなかったという声が聞かれており、少し買い控えをしている傾向が目につく。
		タクシー運転手	来客数の動き	・昼夜間とも客が少ない上、近隣利用ばかりで長距離、中距離利用者がいない。
	悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・客数は以前とあまり変わらないが、立ち読み客が多く、実際の売上は大きく落ちている。
		タクシー運転手	単価の動き	・来客数、単価、売上也、3か月前と比べて悪化している。2月は1年間を通して最も悪い月であるが、今年は最近5年の中で最低の売上、来客数となっている。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	化学工業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・全般的に荷動きは好調であり、今後も受注量は安定的な推移が見込まれる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・中国の鉄鋼需要増の影響で、造船、鉄鋼関係の業況が活発である。造船業では作業後のさび落とし、鉄粉のさび落としや、鉄鋼関係では工場内の清掃需要が見込まれるなどの要因で、特殊車輛の注文が少し増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電子機械や発光ダイオード関連からの受注量が多くなっている。
		通信業（支店長）	競争相手の様子	・業界の予想以上に、新規販売数等が伸びてきている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・北日本では、公共工事の削減や民間設備投資の低迷から売上は悪い。関東地区は製鉄、プラント関係の工事が多忙で、クレーンの稼働率は高い。西日本は、地域によって濃淡はあるが、年度末に向けて稼働率は上昇傾向にあり、地域によってまだら模様となっている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・各取引先でばらつきはあるものの、出荷量が前年同月比で数%の減少傾向にある。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・一部業種に好転の兆しがあるが、全体的にはまだ底の状態である。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・一部、流通関係から広告予算増額の話もあるが、全体としては勢いが感じられない。レジャー施設、娯楽関連、ゴルフ場等も広告出稿は低調である。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の取引先の決算は、前年比でマイナスになっている企業がほとんどである。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・為替が円高になり、販売価格が下がってきている。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・鋼材価格の高騰により、新規発注価格を高くせざるを得ず、客との値引き交渉が難しくなってきた。
	悪くなっている			
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・全体的に決算状況が良い企業において、人的投資、採用という積極的な動きがかなりみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	・最近の求人のニーズは、企画が本当にできる人、すなわちブレインのオファーが多くなっている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（従業員）	採用者数の動き	・採用者数が増加しており、求人数も落ち着きをみせている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は5か月連続して前年を上回っており、業種別には食料品製造業、一般機械器具製造業の求人が増加した。有効求人倍率も改善傾向が続いている。	

	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数は若干増加傾向にあるが、請負、派遣、パート等の増加が中心であり、また一般求人の場合は、資格要件、経験等を求めるものが大半であるため、求人・求職のミスマッチは依然として続いている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・パートを含む新規求人は5か月連続で前年比増となったが、パート求人は7か月ぶりに前年比マイナスとなった。警備員や看護師、タクシー運転手など、一部職種の求人が増加したことが要因である。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-